

川 又 由美恵 議員



- 1 (議案質疑)
楠河分団統合整備事業について
- (一般質問)
- 1 女性消防吏員について
- 2 中学校におけるがん教育について

女性消防吏員の増員と

更なる活躍を！

問

女性消防吏員は、救急業務において、女性傷病者に抵抗感を与えず活動できたり、女性の視点から物事を捉えたりすることができると、住民サービスの向上や消防組織の強化につながるなど、その活躍が期待される。

本市では、令和8年度までに女性消防吏員8人の採用を目標としているが、増員に向けてどのように取り組んでいくのか。

答

ハード面では、平成30年度に、消防本部庁舎への女性用更衣室の整備及び西消防署庁舎への女性専用エリアの整備を行った。今後消防庁舎を更新整備する際には、女性用設備を設け、女性消防吏員の職域や配属先の拡大を図っていきたい。

ソフト面では、県内消防本部合同の就職説明会やPRイベントなど、女性消防吏員の採用に向けた募集活動を行っているほか、職員研修の一環として、警防業務における従事制限やハラスメント対策に関する研修会を開催するなど、女性消防吏員が働きやすい環境づくりを進めている。

今後も、女性消防吏員の増員のため、効果的な募集活動を実施したい。



訓練に励む女性消防吏員

健康と命の大切さ 中学校がん教育とは？

問

本市の中学校が、愛媛県教育委員会が実施する「がん教育推進事業」のモデル校として選ばれているが、その取組内容はどのようなものか。

また、次期学習指導要領により、中学校では令和3年度から、高等学校では令和4年度から、がん教育を実施する予定である。学校における健康教育は、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく能力を育成することが重要である。子どもたちが、がんについて正しく理解し、健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようになるために、令和2年度以降のがん教育をどのように展開していくのか。

答

今年度、西条北中学校がスポーツ庁の「がん教育総合支援事業」及び愛媛県の「がん教育推進事業」のモデル校に指定されており、講師に専門医やがん患者を招き、生徒対象の講演会を開催

したり、保健体育科の授業を通して、がんに対する正しい理解や命の大切さを学んだりしている。

現在、本市における多くの中学校では、健康教育の一環として保健体育科でがん教育に取り組んでいるが、令和2年度は、がんについての正しい理解を深めるため、西条北中学校の研究発表を基に、各中学校でのがん教育推進に努めたい。

また、令和3年度から全面実施される新学習指導要領にもがん教育が明記されており、各学校で地域の実情に応じた取組が展開されるよう支援していきたい。



西条北中学校でのがん教育の様子

西条市民 クラブ

佐伯利彦 議員



- 1 (議案質疑)
公共施設等マネジメント推進事業について
- (一般質問)
- 1 医療体制について
- 2 障害者日常生活用具給付事業について

救急医療体制の

現状と対策は？

問

休日夜間急患センターには外科医が常駐していないが、外科医確保の取組はどのようになっているのか。また、センター休診日の体制に関する課題をどう分析しているのか。更に、慢性的な医師不足の解消に向けて、今後、どのように取り組んでいくのか。